

公立保育園等の民営化に関するサウンディング型市場調査 対話結果の公表について

1 サウンディング実施の経緯

長岡市における就学前児童数は年々減少していますが、核家族化や就労形態の変化等による子どもを取り巻く環境の変化に伴い、3歳未満の子どもの保育園等への入園が増加するなど、多様化する保育ニーズへの対応が求められています。そのため、市では、限られた財源の中で、子どもたちにとってより良い保育環境を整えるため、公立保育園等の民営化や統廃合による適正配置を進めています。

これまで3期にわたって計6施設を民営化したほか、児童数が少なくなった施設の統廃合を実施してきましたが、今後の民営化対象施設の選定及び実施スケジュール並びに公募条件など、具体的な方針について検討するため、サウンディング型市場調査を実施することにいたしました。

2 サウンディングの実施スケジュール

| | | |
|---|---------|----------------------------|
| 1 | 実施要領の公表 | 令和5年 9月 1日（金曜日） |
| 2 | 回答受付期間 | 令和5年 9月 1日（金曜日）～9月15日（金曜日） |
| 3 | 実施期間 | 令和5年 9月22日（金曜日）～10月3日（火曜日） |
| 4 | 実施結果の公表 | 令和5年10月31日（火曜日） |

3 サウンディング参加者

| | |
|-------|-----|
| 参加法人数 | 7法人 |
|-------|-----|

4 サウンディング結果の概要

| 項目 | 対話概要 |
|------------------------------|---|
| 運営移管を希望する施設とその理由※ | <ul style="list-style-type: none">・ 自園と近隣の公立園、又は保育ニーズがある地域の公立園の運営移管を希望する。・ 職員が通勤できる範囲内の公立園であれば運営できる。・ 職員管理の観点から、複数園の運営を行いたい。・ 公立園をサテライト施設（分園）として活用したい。 |
| 既存の「就学前教育・保育施設整備交付金」以外の上乗せ補助 | <ul style="list-style-type: none">・ 現下の社会経済情勢を考慮した補助制度を期待する。・ 以前に比べて園舎の建設コストが2～3割アップしているため、補助の上乗せは民営化の後押しとなる。 |

| | |
|-------------------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 上乗せ補助により法人負担の軽減が図られたとしても、相当金額の借入が必要であり、資金繰りが苦しい。 ・ 施設整備は自費で行うことが原則だと思うので、上乗せがなければ請け負えないという考えには賛同しかねる。 |
| 実施可能な運営移管の時期と施設整備のタイミング | <ul style="list-style-type: none"> ・ 3～5年以内の運営移管であれば検討したい。 ・ 施設整備を行うのであれば、物価高騰で費用がかさまないうち早期の実施が望ましい。 ・ 令和9年4月の運営移管も実現可能性はある。 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 立地的・スケジュール的に、自園と民営化園を統合できるようにであれば、前向きに検討したい。 ・ 少子化の現状を踏まえると、施設整備を伴う民営化には慎重にならざるを得ない。 ・ これまで実施してきた既存の公立園を法人に譲渡する手法以外に、運営委託や指定管理といった手法も検討の余地があると思う。 |

※以下の理由から、具体的な施設名の公表は控えさせていただきます。

- ・ 率直な意見交換や意思決定の中立性が損なわれるおそれがある。
- ・ 保護者や地域住民等を混乱させるおそれがある。
- ・ その他当該事業の公正かつ能率的な遂行を阻害するおそれがある。

5 サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングでは、公立保育園等の民営化について、運営移管の対象施設や実施時期など、具体的な御提案をいただくことができました。また、施設整備に係る補助制度についても、想定した補助割合や交付額の妥当性を確認することができました。

今回の結果を踏まえて、今後、公立保育園等の民営化について検討を進めてまいります。